

NICUの赤ちゃんの生活とご家族のかかわりのめやす(一例)

※赤ちゃんの状態や医療機関により異なりますので、NICUスタッフにお尋ねください。

修正
指数

22

赤ちゃんのようす

ママのおなかの中に近い静かな環境で、ほとんどを寝て過ごします。

体温調節を助けるため保育器の中にいます。



耳が聞こえ始めています。

まだ、口から母乳(ミルク)が飲めません。

28

光を感じるようになります。少しずつ目を開けている時間がみられます。

体温が少しずつ安定してきました。皮膚の感覚もできあがってきます。

ご家族のかかわり

そばにいる そっと触れる
母乳を運ぶ
お写真・成長を記録

赤ちゃんが頑張っている姿を見守りましょう。この時期の赤ちゃんは、大きな声や音にびっくりしてしまいます。保育器の窓は、静かに開け閉めしましょう。

ママタオル・パパタオル

ママやパパにおいては赤ちゃんの安心につながります。ママタオル、パパタオルを用意してみましょう。

優しく声かけ

ママやパパの声を聞いて、赤ちゃんは安心します。発達にも良い影響を与えますので、優しくゆっくりと声をかけてください。

母乳を浸した綿棒

赤ちゃんの栄養は、胃に入っているチューブから母乳(ミルク)を注入したり、点滴で補ったりしています。母乳を少し浸した綿棒をなめさせてあげることができず。そうすることで、赤ちゃんを感染から守り、母乳のにおいや味により赤ちゃんが安心できます。

ホールディング

手のひらで赤ちゃんを包み込んであげます。保育器の中で、抱っこされているようなぬくもりと安心感を赤ちゃんに与えてあげることができます。

保育器の外で抱っこ カンガルー抱っこ

ママやパパと赤ちゃんの肌と肌を触れ合わせることで、ゆっくりとコミュニケーションをとるカンガルーケアができるようになります。赤ちゃんの体温も保たれ、呼吸が安定する効果もあります。また、親子の絆が深まり、母乳分泌が促される効果もあります。

修正
指数

32

赤ちゃんのようす

起きている時間がはつきりわかるようになってきます。泣いている姿を見ることが増えてきます。

34

そろそろ保育器を卒業し、コットに出ることができず。

母乳(ミルク)の時間になると、泣いて起きることが、少しずつ増えてきます。

口から少しずつ母乳(ミルク)が飲めるようになります。



37

40



赤ちゃんの成長には個人差があります。ゆっくりなこともあると思いますが、あせらず見守ってあげてください。

ご家族のかかわり

ベースン浴

赤ちゃんの状態にあわせて、週に1~2回、保育器の外でお風呂に入ることができます。

おむつ替え



抱っこ 沐浴

抱っこや沐浴ができるようになります。赤ちゃんにとって、抱っこした時の顔の距離が最も見えやすい距離といわれています。お風呂はママのおなかの中のみで、大好きです。



母乳(ミルク)

母乳(ミルク)を飲めるようになります。最初はまだ上手に飲めないので、無理せず赤ちゃんのペースで少しづつ量から始めます。



おうちに帰る準備を始めます

育児に必要なものはそろっていますか？おうちに帰ってからのことで心配なことがあれば、病院のスタッフに相談しましょう。

